

# 総務教育常任委員会資料

(平成30年8月21日)

## 〔 件 名 〕

- ・ 眞子内親王殿下の御来県について 【総務課】・・・1
- ・ 平成29年度一般会計決算について 【財政課】・・・2
- ・ 平成30年度普通交付税（県分）の交付額の決定について 【財政課】・・・7
- ・ 平成30年度ふるさと納税の実績（第1四半期）等について 【資産活用推進課】・・・9
- ・ 明治150年特別企画展「明治時代の鳥取県一維新から大正改元までの記録一」の開催について 【公文書館】・・・11
- ・ 首都圏における情報発信等について 【東京本部】・・・12
- ・ 京都橘大学との就職支援に関する連携協定の締結について 【関西本部】・・・19
- ・ とっとりWorkWork（ワクワク）バスツアーの実施結果について 【関西本部】・・・20
- ・ 関西圏における情報発信等について 【関西本部】・・・21
- ・ 名古屋における情報発信等について 【名古屋代表部】・・・24

総 務 部

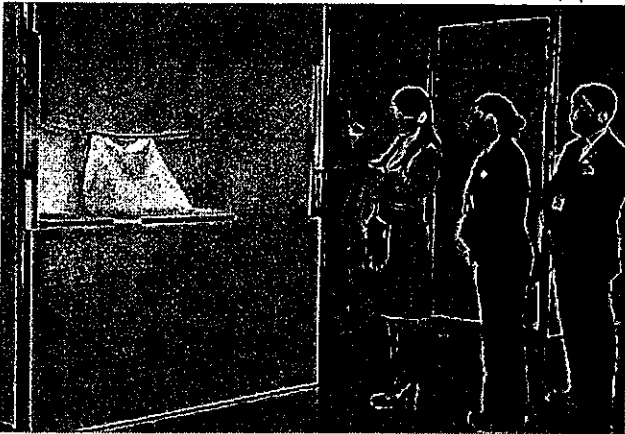
## 眞子内親王殿下の御来県について

平成30年8月21日  
総務課

眞子内親王殿下は、去る8月8日（水）から8月9日（木）まで伯耆国「大山開山1300年祭」記念式典に御臨席されるとともに、鳥取県中部地震からの復興状況を御聴取され、また米子市、伯耆町及び大山町のお立ち寄り先を御訪問になりました。

8月8日（水）には、米子市美術館を御視察された後、聴覚障害者就労継続支援センターふくろうを御訪問、ロイヤルホテル大山で行われた交流レセプションに御臨席され、大山寺において「大山お盆の大献灯」を御覧になりました。

8月9日（木）には、米子市公会堂で行われた伯耆国「大山開山1300年祭」記念式典に御臨席されました。



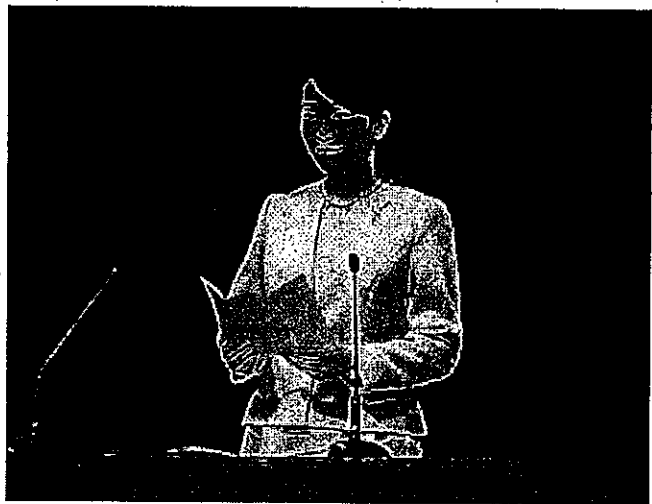
米子市美術館 御視察（8月8日）



交流会レセプション 御臨席  
（ロイヤルホテル大山 8月8日）



「大山お盆の大献灯」御覧（8月8日）



記念式典・おことば（米子市公会堂 8月9日）

# 平成29年度 一般会計決算について

平成30年8月21日  
財 政 課

平成29年度一般会計は、臨時財政対策債を含む実質的な地方交付税が大幅に減少したものの、国経済対策による国庫補助金や県債などの収入が増加したことにより、歳入は前年度を70億円上回りました。

歳出においては、公債費や国経済対策等による普通建設事業の増などにより、前年度を106億円上回りました。

これらの結果、実質収支については、前年度を下回りました。

地方債現在高は、前年度比8.3億円減となったものの、6,373億円と依然として高い水準にあるとともに、財政調整型基金の残高は、373億円と前年度より減少するなど、引き続き厳しい財政運営が続いています。

## 1 総括

(単位：百万円)

区 分	平成29年度 (A)	平成28年度 (B)	比較 (A) - (B)
歳入総額 (ア)	372,366	365,359	7,007
歳出総額 (イ)	367,143	356,559	10,584
歳入歳出差引額 (ア)-(イ)=(ウ)	5,223	8,800	▲3,577
翌年度へ繰越すべき財源 (エ)	2,262	3,359	▲1,097
実質収支 (ウ)-(エ)	2,961	5,441	▲2,480
単年度収支 実質収支の前年度との差	▲2,480	▲5,009	2,529

## 2 その他

(単位：百万円)

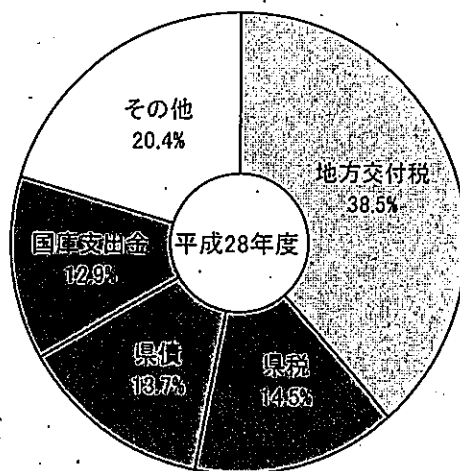
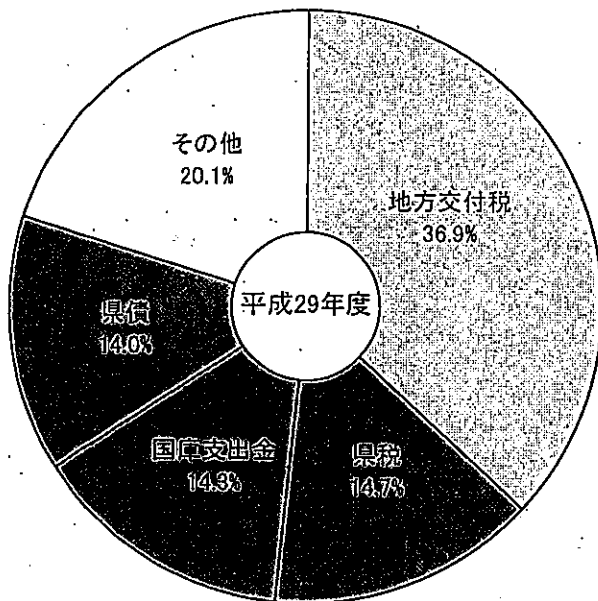
区 分	平成29年度 (A)	平成28年度 (B)	比較 (A) - (B)
財政調整型基金残高	37,308	38,302	▲994
地方債現在高 (一般会計ベース)	637,254	645,581	▲8,327
(臨時財政対策債)	301,175	305,529	▲4,354
(臨時財政対策債除き)	336,079	340,052	▲3,973

(注) 財政調整型基金とは、財政調整基金、県立公共施設等建設基金、減債基金、大規模事業基金及び長寿社会対策推進基金をいう。

# 歳入

(単位:百万円、%)

区 分	平成29年度		平成28年度		比較	
	決算額(A)	構成比	決算額(B)	構成比	(A)-(B)	増減率
県 税	54,605	14.7	52,890	14.5	1,715	3.2
地方消費税清算金	20,585	5.5	20,226	5.5	359	1.8
地方譲与税	9,942	2.7	9,684	2.7	258	2.7
地方特例交付金	161	0.0	148	0.0	13	8.8
地方交付税	137,437	36.9	140,493	38.5	▲ 3,056	▲ 2.2
交通安全対策特別交付金	138	0.0	144	0.0	▲ 6	▲ 4.2
分担金及び負担金	608	0.2	630	0.2	▲ 22	▲ 3.5
使用料及び手数料	4,331	1.2	4,344	1.2	▲ 13	▲ 0.3
国庫支出金	53,301	14.3	47,305	12.9	5,996	12.7
財産収入	1,087	0.3	1,294	0.4	▲ 207	▲ 16.0
寄附金	498	0.1	735	0.2	▲ 237	▲ 32.2
繰入金	14,339	3.8	15,767	4.3	▲ 1,428	▲ 9.1
繰越金	8,800	2.4	13,327	3.6	▲ 4,527	▲ 34.0
諸収入	14,516	3.9	8,488	2.3	6,028	71.0
県債	52,018	14.0	49,884	13.7	2,134	4.3
(うち臨時財政対策債)	16,362	4.4	16,513	4.5	▲ 151	▲ 0.9
合 計	372,366	100.0	365,359	100.0	7,007	1.9



## 《増減の主なもの》

(県税)		
法人二税	12,447	→ 13,830 (+ 1,383)
県民税株式等譲渡所得割	200	→ 553 (+ 353)
地方消費税	9,573	→ 8,865 (▲ 708)
(地方譲与税)		
地方法人特別譲与税	7,778	→ 8,055 (+ 277)
(地方交付税)		
普通交付税	137,042	→ 133,853 (▲ 3,189)
特別交付税	3,451	→ 3,584 (+ 133)
(使用料及び手数料)		
全日制高等学校授業料	1,367	→ 1,339 (▲ 28)
(国庫支出金)		
水産整備基盤整備事業費補助金	964	→ 2,412 (+ 1,448)
地方創生拠点整備交付金	0	→ 1,042 (+ 1,042)
合板・製材生産性強化対策交付金	11	→ 898 (+ 887)
社会資本整備総合交付金	15,221	→ 15,885 (+ 664)
衆議院議員総選挙執行委託費	0	→ 359 (+ 359)
河川等災害復旧事業費国庫負担金	460	→ 781 (+ 321)
地方創生推進交付金	283	→ 524 (+ 241)
都道府県警察施設整備費補助金	218	→ 0 (▲ 218)
参議院議員通常選挙執行委託費	308	→ 0 (▲ 308)
地方創生加速化交付金	670	→ 0 (▲ 670)

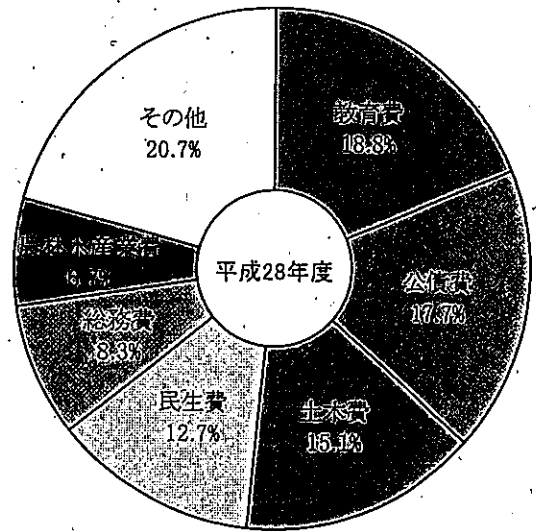
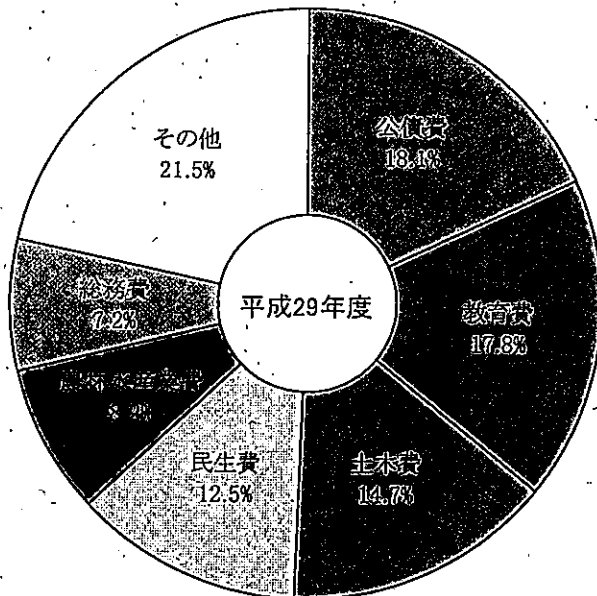
(単位:百万円)

(財産収入)	
利子及び配当金	394 → 236 (▲ 158)
(寄附金)	
原子力防災対策基金積立に係る中四電力からの寄附金	0 → 260 (+ 260)
鳥取県中部地震がんばろう寄附金	252 → 63 (▲ 189)
鳥取県中部地震災害義援金	274 → 10 (▲ 264)
(繰入金)	
市町村資金貸付基金繰入金	0 → 6,500 (+ 6,500)
退職手当基金繰入金	1,900 → 1,100 (▲ 800)
とっとり支え愛基金繰入金	1,015 → 0 (▲ 1,015)
減価基金繰入金	3,900 → 1,100 (▲ 2,800)
鳥取力創進運動推進基金繰入金	3,383 → 0 (▲ 3,383)
(繰越金)	
純繰越金	10,450 → 5,441 (▲ 5,009)
(諸収入)	
とっとり決世代・地域資産活用育成ファンド貸付金元利収入	0 → 5,000 (+ 5,000)
(県債)	
国の予算等貸付金債	6 → 4,000 (+ 3,994)
公共事業等債	14,365 → 18,335 (+ 3,970)
減収補填債	0 → 600 (+ 600)
一般単独事業債	12,892 → 7,137 (▲ 5,755)

歳出(目的別)

(単位:百万円、%)

区分	平成29年度		平成28年度		比較	
	決算額(A)	構成比	決算額(B)	構成比	(A)-(B)	増減率
議会費	885	0.3	874	0.2	11	1.3
総務費	26,537	7.2	29,578	8.3	▲ 3,041	▲ 10.3
民生費	45,866	12.5	45,200	12.7	666	1.5
衛生費	15,172	4.1	14,063	3.9	1,109	7.9
労働費	1,868	0.5	2,225	0.6	▲ 357	▲ 16.0
農林水産業費	30,112	8.2	23,860	6.7	6,252	26.2
商工費	21,262	5.8	18,354	5.2	2,908	15.8
土木費	54,043	14.7	53,685	15.1	358	0.7
警察費	15,480	4.2	16,396	4.6	▲ 916	▲ 5.6
教育費	65,241	17.8	66,955	18.8	▲ 1,714	▲ 2.6
災害復旧費	2,553	0.7	1,176	0.3	1,377	117.1
公債費	66,435	18.1	63,072	17.7	3,363	5.3
諸支出金	21,689	5.9	21,121	5.9	568	2.7
合計	367,143	100.0	356,559	100.0	10,584	3.0



《増減の主なもの》

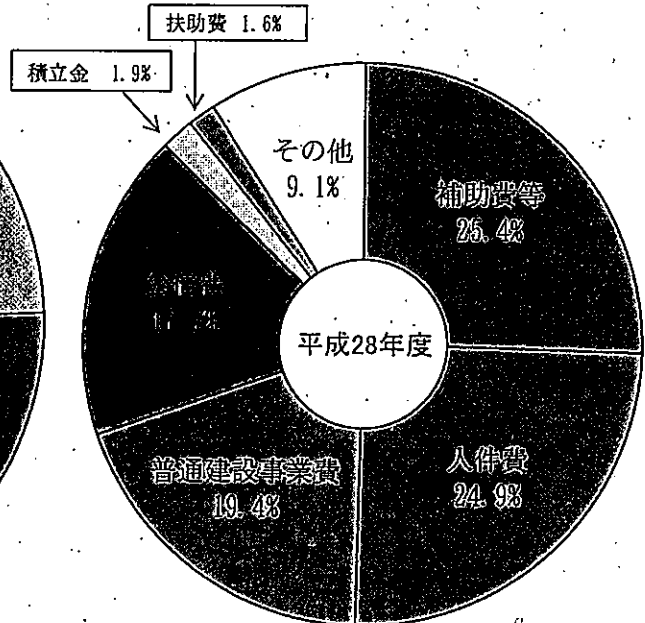
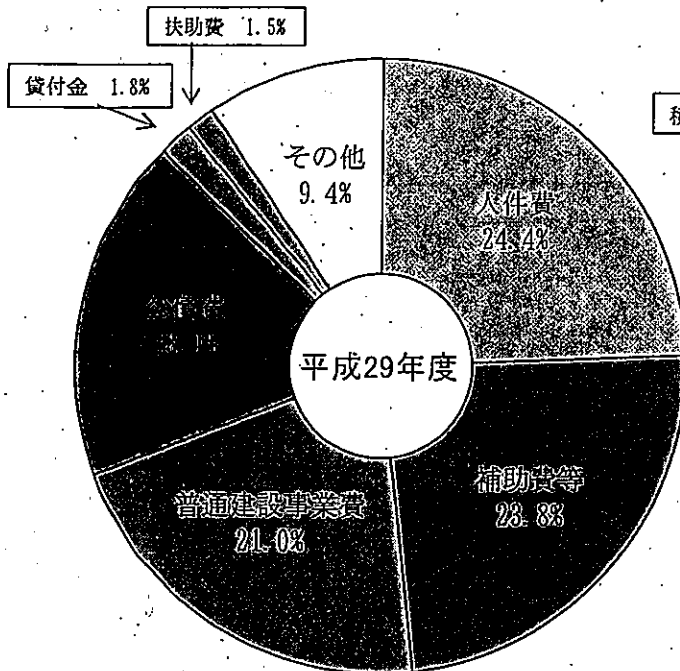
(単位:百万円)

《総務費》		《商工費》	
私立学校施設整備費補助金	100 → 477 (+ 377)	とっとり発イノベーション! 起業化促進事業	0 → 4,500 (+ 4,500)
衆議院議員選挙費	0 → 367 (+ 367)	企業立地事業補助金	6,529 → 7,599 (+ 1,070)
米子コンベンションセンター床機構改修	784 → 0 (▲ 784)	企業投資促進のための工業団地再整備事業補助金	530 → 276 (▲ 254)
鳥取元気づくり推進基金積立金	3,000 → 0 (▲ 3,000)	地域総合整備資金貸付事業	2,100 → 0 (▲ 2,100)
《民生費》		《土木費》	
国民健康保険基金安定等推進費	2,620 → 3,254 (+ 634)	鳥取砂丘コナン空港交流創出整備事業	0 → 890 (+ 890)
介護保険運営負担金事業	8,551 → 8,700 (+ 149)	単県公共事業	4,716 → 5,231 (+ 515)
地域型保育給付費負担金	119 → 232 (+ 113)	境港管理組合負担金	1,792 → 1,914 (+ 122)
地域医療介護総合確保基金(施設整備)補助金	375 → 21 (▲ 354)	一般公共事業	29,991 → 29,481 (▲ 510)
		直轄事業負担金	7,028 → 5,901 (▲ 1,127)
《衛生費》		《教育費》	
地域医療介護総合確保基金造成事業(医療分)	1,779 → 2,417 (+ 638)	老朽化施設緊急整備事業費	0 → 109 (+ 109)
地域医療介護総合確保基金事業	1,060 → 1,551 (+ 491)	博物館運営費	305 → 98 (▲ 207)
県立病院運営事業費	2,447 → 2,570 (+ 123)	受託免職調査事業(山陰道「鳥取西道路」)	772 → 419 (▲ 353)
地域医療再生基金返還金	390 → 36 (▲ 354)	県立学校耐震化推進事業費	2,586 → 1,140 (▲ 1,446)
《労働費》		《災害復旧費》	
戦略産業雇用創出プロジェクト事業費	116 → 219 (+ 103)	建設災害復旧費	847 → 1,225 (+ 378)
産業人材育成センター施設整備費	213 → 8 (▲ 205)	単独災害復旧費	136 → 411 (+ 275)
緊急雇用創出事業	243 → 0 (▲ 243)	治山施設等災害関連事業費	1 → 258 (+ 257)
		直轄災害復旧費	168 → 9 (▲ 159)
《農林水産業費》		《公債費》	
一般公共事業	7,238 → 10,671 (+ 3,433)	元金	56,053 → 60,345 (+ 4,292)
畜産クラスター施設整備事業	64 → 1,264 (+ 1,200)	利息	6,988 → 6,058 (▲ 930)
境漁港冷凍・冷蔵施設整備事業	0 → 1,095 (+ 1,095)		
林業・木材産業強化総合対策事業	11 → 898 (+ 887)		
栽培漁業センター施設増強事業	0 → 422 (+ 422)		
国土調査事業	791 → 506 (▲ 285)		
緑の産業活力創生プロジェクト事業	636 → 172 (▲ 464)		
		《諸支出金》	
		県税還付金	490 → 837 (+ 347)
		株式等譲渡所得割交付金	119 → 329 (+ 210)
		地方消費税清算金	9,346 → 8,788 (▲ 558)

歳出(性質別)

(単位:百万円、%)

区分	平成29年度		平成28年度		比較	
	決算額(A)	構成比	決算額(B)	構成比	(A)-(B)	増減率
人件費	89,575	24.4	88,798	24.9	777	0.9
扶助費	5,544	1.5	5,536	1.6	8	0.1
補助費等	87,323	23.8	90,674	25.4	▲ 3,351	▲ 3.7
普通建設事業費	77,169	21.0	69,280	19.4	7,889	11.4
補助事業(直轄含む)	58,269	15.9	50,079	14.0	8,190	16.4
単独事業	18,553	5.1	19,136	5.4	▲ 583	▲ 3.0
受託事業	348	0.1	65	0.0	283	435.4
災害復旧事業費	2,364	0.6	1,176	0.3	1,188	101.0
公債費	66,405	18.1	63,006	17.7	3,399	5.4
積立金	4,704	1.3	6,728	1.9	▲ 2,024	▲ 30.1
貸付金	6,445	1.8	4,092	1.1	2,353	57.5
その他の経費	27,614	7.5	27,269	7.7	345	1.3
合計	367,143	100.0	356,559	100.0	10,584	3.0



《増減の主なもの》

(人件費)		
職員人件費(退職手当除く)	77,001 →	76,962 (▲ 39)
退職手当	7,042 →	7,673 (+ 631)
(扶助費)		
児童措置費	1,881 →	1,969 (+ 88)
(補助費等)		
衆議院議員選挙費	0 →	367 (+ 367)
企業投資促進のための工業団地再整備事業補助金	530 →	276 (▲ 254)
国土調査事業	791 →	506 (▲ 285)
参議院議員選挙費	313 →	0 (▲ 313)
地域医療再生基金返還金	390 →	36 (▲ 354)
緑の産業活力創生プロジェクト事業	636 →	172 (▲ 464)
地方消費税清算金	9,346 →	8,788 (▲ 558)
(普通建設事業費)		
一般公共事業	37,229 →	40,152 (+ 2,923)
畜産クラスター施設整備事業	64 →	1,264 (+ 1,200)
境漁港冷凍・冷蔵施設整備事業	0 →	1,095 (+ 1,095)
企業立地事業補助金	6,529 →	7,599 (+ 1,070)
鳥取砂丘コナン空港交流創出整備事業	0 →	890 (+ 890)
林業・木材産業強化総合対策事業	11 →	898 (+ 887)
単県公共事業	5,007 →	5,435 (+ 428)
栽培漁業センター施設増強事業	0 →	422 (+ 422)
直轄事業負担金	7,304 →	6,111 (▲ 1,193)
県立学校耐震化推進事業費	2,586 →	1,140 (▲ 1,446)

(単位:百万円)

(災害復旧事業費)		
建設災害復旧費	847 →	1,225 (+ 378)
単独災害復旧費	136 →	411 (+ 275)
治山施設等災害関連事業費	1 →	258 (+ 257)
港湾災害復旧費	0 →	168 (+ 168)
直轄災害復旧費	168 →	9 (▲ 159)
(公債費)		
元金	56,053 →	60,345 (+ 4,292)
利子	6,988 →	6,058 (▲ 930)
(積立金)		
国民健康保険財政安定化基金積立金	169 →	808 (+ 639)
地域医療介護総合確保基金造成事業	1,994 →	2,628 (+ 634)
安心子ども基金造成事業	589 →	0 (▲ 589)
鳥取元気づくり推進基金設置事業	3,000 →	0 (▲ 3,000)
(貸付金)		
とっとり発イノベーション! 起業化促進事業	0 →	4,500 (+ 4,500)
地域総合整備資金貸付事業	2,100 →	0 (▲ 2,100)
(その他の経費)		
道路維持修繕費	2,458 →	2,613 (+ 155)
戦略産業雇用創造プロジェクト事業費	116 →	219 (+ 103)
受託発掘調査事業(山陰道・鳥取西道路)	772 →	419 (▲ 353)

## 主な財政指標等

### 1 公債費負担比率（普通会計）

区 分	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
本 県	24.5	23.4	21.3	25.4	22.7	23.3	23.2	24.2	23.7	24.3	24.5
全国都道府県	18.6	19.3	18.8	18.9	19.4	19.7	19.9	19.5	18.7	18.4	-

注) 公債費負担比率とは、公債費に充当された一般財源の一般財源総額に対する割合をいう。

### 2 経常収支比率（普通会計）

区 分	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
本 県	94.7	90.6	91.9	86.5	88.8	89.4	88.6	89.3	90.2	92.4	92.7
全国都道府県	94.7	93.9	95.9	91.9	94.9	94.6	93.0	93.0	93.4	94.3	-

注) 経常収支比率とは、歳出総額の中の経常的経費に充当された一般財源の経常一般財源総額に対する割合をいう。

### 3 財政力指数

区 分	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
本 県	0.27	0.27	0.27	0.26	0.26	0.24	0.24	0.24	0.25	0.27	0.27
全国都道府県	0.50	0.52	0.52	0.49	0.47	0.46	0.46	0.47	0.49	0.51	-

注) 財政力指数とは、地方公共団体の財政力の強弱を表す指標であり、基準財政収入額の基準財政需要額に対する割合の過去3カ年の平均値をいう。

# 平成30年度普通交付税（県分）の交付額の決定について

平成30年8月21日  
財 政 課

平成30年7月24日に閣議報告の上、平成30年度普通交付税が決定されました。  
本県における県分の配分額等の概要は以下のとおりです。

## <交付決定額の増減分析>

- 臨時財政対策債発行可能額を含めた実質的な普通交付税額は1,452億円となり、前年度に対して▲50億円（▲3.3%）（全国値：▲1.3%）となった。
- ・ 普通交付税額は1,302億円となり、前年度に対して▲36.8億円（▲2.7%）（全国値：▲1.3%）となった。
- ・ 臨時財政対策債発行可能額は150億円となり、前年度に対して▲13.3億円（▲8.1%）（全国値：▲1.5%）となった。鳥取県の実質的な普通交付税に占める割合は10.4%（全国値：21.2%）となり、前年度に対して▲0.5%となった。
- 歳出特別枠が廃止（平成30年度地方財政計画（地域経済基盤強化・雇用等対策費）：1,950億円→0円）されたことから、地域経済・雇用対策費等で前年度に対して▲14.7億円（皆減）となった。また、中核市への事務移譲（▲4.8億円）や、平成29年度の実績等を反映して法人事業税が算定された（+17.2億円）ことなどにより大幅な減額となった。

## <前年度決定額対比>

（単位：億円）

	H30 交付決定	H29 交付決定	増減額 (H30-H29)	伸率	全国伸率 (道府県分)
普通交付税額	1,302	1,339	▲37	▲2.7%	▲1.3%
臨時財政対策債 発行可能額	150	164	▲14	▲8.1%	▲1.5%
合 計	1,452	1,502	▲50	▲3.3%	▲1.3%

※表示単位未満を四捨五入しているため、各項目と合計欄は一致しない。

## 【主な増減理由】

（全国）

◆基準財政需要額（臨時財政対策債償替前）	1,980億円（▲24.1億円）（▲1.2%）	▲0.3%
<主な要因> 歳出特別枠の廃止	▲14.7億円（皆減）	（皆減）
包括算定経費の減	▲9.2億円（▲4.9%）	▲5.4%
中核市への事務移譲	▲4.8億円（-）	-%
◆基準財政収入額	526億円（+25.7億円）（+5.1%）	+0.7%
<主な要因> 法人事業税の増	+17.2億円（+22.9%）	▲2.4%
地方消費税の増	+4.0億円（+4.6%）	+5.0%
道府県民税所得割の増	+2.0億円（+1.5%）	+0.9%
不動産取得税の増	+1.1億円（+15.1%）	+1.1%
自動車取得税の増	+0.5億円（+35.71%）	+28.71%

## <H30当初予算対比>

（単位：億円）

	H30 交付決定	H30 当初予算額	増減額 (決定-予算)	伸率
普通交付税額	1,302	1,293	+9	+0.7%
臨時財政対策債 発行可能額	150	156	▲6	▲3.7%
合 計	1,452	1,449	+3	+0.2%

※表示単位未満を四捨五入しているため、各項目と合計欄は一致しない。



【参考】

1 平成30年度普通交付税の決定について

○全国の交付税額について (単位：億円)

区分	H30	H29	伸率
道府県分	81,435	82,524	▲1.3%
市町村分	69,045	70,977	▲2.7%
合計	150,480	153,501	▲2.0%

2 本県におけるその他の要素について

○臨時財政対策債償還費

平成30年度臨時財政対策債償還費として、221億円が基準財政需要額に算入された。

(平成30年度の実償還額は242億円)

⇒差額は政府の理論償還と実償還との差異(償還年限の差など)によるもの。

起債償還にかかる交付税措置額 (単位：億円)

	H30	H29	増減額 (H30-H29)
事業費補正	61	64	▲3
公債費	353	358	▲5
うち臨財債	221	213	+8
合計	414	422	▲8

※表示単位未満を四捨五入しているため、各項目と合計欄は一致しない。

平成30年度ふるさと納税の実績（第1四半期）等について

平成30年8月21日  
資産活用推進課

平成30年度第1四半期における鳥取県のふるさと納税の実績や取組状況について報告します。

1 ふるさと納税（第1四半期分（平成30年4～6月分））について

寄附金額（寄附件数） 23,505千円（1,143件）〔対前年度比76.9%（76.3%）〕

○今後の寄附促進を図るため、新たな民間サイトでの受付を予定しています。

8月はふるさと納税強化月間として、様々な場所でふるさと納税の啓発活動を実施しています。

(1) 首都圏でふるさと納税制度の周知を目的として啓発チラシを配布（8月1日）

東京交通会館（千代田区有楽町）にて、本県が参加する「ふるさと納税の健全な発展を目指す自治体連合」の「ふるさと納税普及啓発月間」の取組の一環として実施。



(2) 帰省客や観光客の方へ

・グランドオープンした鳥取砂丘コナン空港において、本県ふるさと納税パンフレットの配布によりPRを実施。（8月13日）

・県の集客施設（とっとり花回廊、鳥取二十世紀梨記念館、とっとり賀露かみっこ館等）、道の駅、高速バス車内等へふるさと納税パンフレットを配架。

(3) 県職員に対して、同窓会等に参加される知人や親戚の方等へのP-Rを依頼。

2 「平成30年7月豪雨災害」に係る岡山県、広島県へのふるさと納税の受付代行及び鳥取県へのふるさと納税の受付について

このたびの災害を踏まえ、被害の大きかった岡山県、広島県への寄附促進と、寄附金受領証明書作成等の事務負担を軽減するため、両県へのふるさと納税について、7月11日から当面の間、鳥取県で受付業務などを代行して行うこととしました。

あわせて、本県についても、寄附金の使途を復興支援に限定したふるさと納税の受付も開始しました。（8月8日午前9時時点 ※申込みベース）

受付自治体名	寄附金額（寄附件数）
岡山県（受付代行分）	68,996千円（3,751件）
広島県（受付代行分）	63,493千円（3,552件）
受付代行分 計	132,489千円（7,303件）
鳥取県	3,099千円（280件）

※本県が受付代行している寄附金については、10月上旬頃に被災地へ送金予定です。

3 企業版ふるさと納税（第1四半期分（平成30年4～6月分））について

地域再生法に基づき国に認定された企業版ふるさと納税の対象事業への企業からの平成30年4月から6月までの寄附受付状況（内諾含む。）は、次のとおりです。

年度	寄附対象事業数（事業費総額）	寄附金額（寄附件数）※内諾含む
H30（第1四半期）	5事業（200,966千円）	6,600千円（10件）
H29（通年度）	2事業（130,490千円）	1,908千円（2件）
H28（通年度）	1事業（125,751千円）	4,700千円（8件）

県内市町村に対しても、引き続き説明会や個別に情報提供するなど制度活用を促していくこととされています。

※県内市町村の状況…江府町「遊休農地を活かした6次産業化推進事業」【H28.8.2認定分】

：寄附実績なし

＜県の企業版ふるさと納税対象事業一覧＞

事業名	事業概要	事業費（～31年度）	寄附企業 ※内諾含む。
とっとりの保育現場で活躍する学生応援プロジェクト （子育て応援課） 【H30. 3. 30 認定】	県外の保育士養成施設に在学する学生に対し、県内保育施設で実習等を行う場合の旅費の一部を助成し、県内保育施設へのUターン就職の促進を図る。	全体：1,200千円 30年度：600千円	【30年度】 フジキコーポレーション(株) (株)不二家システムセンター
健康づくり文化創造プロジェクト （健康政策課） 【H30. 3. 30 認定】	健康づくりに資する取組に対してポイントを付与し、県内に居住する誰でもどんな健康づくりでもポイントがもらえる取組（健康マイレージ事業）を実施し、健康意識の醸成等を図る。	全体：2,000千円 30年度：1,000千円	【30年度】 日本生命保険相互会社 (株)不二家システムセンター
世界に誇れる「星取県」ブランド化推進プロジェクト （観光戦略課、環境立県推進課） 【H30. 3. 30 認定】	本県が誇る日本一美しく、手に取れそうなほど星が近い「星取県」の情報発信とともに、「星取県」ブランド化の一層の推進を図る。 併せて、美しい星空が見える環境を将来にわたって守り活かすため、星空の解説ができる人を育成する。	全体：1,500千円 30年度：750千円	【30年度】 サントリープロダクツ(株) (株)山陰合同銀行 (株)不二家システムセンター
鳥取県未来人材育成奨学金支援プロジェクト （雇用政策課） 【H28. 8. 2 認定】	大学生等の地元定着・県内就職を促進させるため、県内の助成対象業種に就職する場合、借り入れた奨学金の返還額の一部を助成する。	全体：793,000千円 30年度：193,000千円 29年度：126,875千円 28年度：125,751千円	【H30年度】 (株)イナテック (株)インフォメーション・デバロップメント 【H29年度】 あいおいニッセイ同和損害保険(株) 【H28年度】 (株)山陰合同銀行 (株)不二家システムセンター サントリープロダクツ(株) (株)エスエムオー (株)インフォメーション・デバロップメント 損害保険ジャパン日本興亜(株) (株)ソフトウェア・サービス 企業名非公表1社
とっとり未来創造型起業支援事業 （産業振興課） 【H29. 3. 28 認定】	県内産業・経済に大きなインパクトを与えるような成長性の高い起業創出のため、起業を志す人に対して、合宿方式で支援する。	全体：16,848千円 30年度：5,616千円 29年度：3,615千円	【H30年度】 (株)山陰合同銀行 【H29年度】 企業名非公表1社

※個々の企業様の寄附金額については、意向を踏まえ、公表しないこととしております。

（参考）企業版ふるさと納税（地方創生応援税制）の概要

- 県外に本店がある企業が、地方創生を活性化させる目的で、自治体を実施する地方創生事業に寄附をすると、寄附額の約6割の税負担が軽減される。  
※税負担軽減効果…〔通常の損金算入（約3割）〕＋〔法人事業税、法人住民税及び法人税（約3割）〕
- 対象期間は平成28年度から平成31年度までの4年間。
- 寄附の下限額は10万円と比較的低額であり、企業が積極的に社会貢献（CSR）活動に取り組むことができる。
- 自治体が企業からの寄附を募るためには、地域再生計画（対象となる事業の計画）を策定して国の認定を受ける必要がある。

平成30年8月21日  
公文書館

本年は、明治元年から起算して150年の節目を迎えます。この機に、明治時代の鳥取県政の歩みを、公文書や写真等を元に、主な出来事、人物等にスポットを当てながら紹介します。また、会期中に、記念講演会とギャラリートークを実施します。

- 1 会期 平成30年9月8日(土)～10月23日(火) (明治改元の日から開始)  
午前9時から午後5時まで (図書館は火曜日から金曜日は午後7時まで開館)  
9月30日(日)は休館 (図書館は9月13日(木)、10月11日(木)も休館)
- 2 場所 鳥取県立公文書館 (1階展示コーナー及び図書館との共通通路)  
鳥取県立図書館 (2階特別資料展示室)
- 3 主催等 主催：鳥取県立公文書館  
共催：鳥取県立図書館、県市町村歴史公文書等保存活用共同会議、新日本海新聞社  
後援：独立行政法人国立公文書館

#### 4 展示構成

- (1) 「五箇条の御誓文」と版籍奉還
- (2) 鳥取県の誕生、島根県への併合から鳥取県再置まで
- (3) 鳥取県再置後の鳥取県政
- (4) 憲法の発布と教育勅語の制定
- (5) 日清・日露の戦いと地域の再編
- (6) 行啓と明治の終焉
- (7) 新聞にみる明治期の社会生活と文化
- (8) 明治初年の神社絵図にみる宗教政策
- (9) 明治期の基幹産業 (稲作、たたら製鉄)
- (10) 鳥取「人物誌」(関義臣、松田道之、岡崎平内、山田信道、中井太一郎)

※展示資料数 約120点

#### 5 関連イベント

##### (1) 記念講演会

- ・日時 平成30年9月15日(土) 午後1時30分～午後4時
- ・会場 とりぎん文化会館 (第1会議室)
- ・講演 ①「公文書と日本人—日本の公文書制度の変遷と課題—」

講師：松岡資明氏 (元日本経済新聞編集委員)

##### ②「公文書から見た日本の近代化の歩み」

講師：加藤丈夫氏 (独立行政法人国立公文書館長)

- ・対談 「明治時代の鳥取—中央と地方の相克—」

松岡資明氏、加藤丈夫氏

##### (2) ギャラリートーク (公文書館専門員による展示解説)

9月8日(土)、10月7日(日) 午後1時30分～午後2時30分  
(午後1時30分までに公文書館1階展示コーナー集合)

#### 6 その他

例年公文書館で実施している「とっとり県民の日」(9月12日)に係る展示は、参画協働課と共同で8月28日から9月21日まで県庁ロビーで実施します。

## 首都圏における情報発信等について

平成30年8月21日  
東京本部

首都圏における観光誘客、販路開拓及び移住定住等に係る情報発信等の取組について、以下のとおり報告します。

### 1 観光・誘客に係る情報発信の取組について

#### (1) 在京外国プレスツアーの実施

伯耆国「大山開山1300年祭」が実施されるのに際し、外国人目線での鳥取県の魅力発掘や鳥取県の取組の国内外への情報発信を目的に、首都圏在住の外国メディア関係者を鳥取県西部に招へいし、取材を行ってもらった。また、県内関係者との関係構築や継続的な情報発信を行うことを目的に、プレスツアー参加者とのネットワーク懇談会を開催した。

ア 期 日：平成30年8月2日(木)、3日(金)

イ 取 材 先：米子市美術館「大山山麓の至宝」展、大山寺、漁師中村・築き会(UJ ターン起業家)、大山町国信地区豆腐小屋、たたら楽校根雨楽舎、鍛冶工房宮光、菊水フォーミング、知事インタビュー

ウ 来 県 者：7社11名

【テレビ】 (韓国) SBS  
(ベトナム) Vietnam Television  
【新聞社】 (韓国) 京郷新聞  
(バングラデシュ) Prothom Alo  
(デンマーク) Weekend davisen  
【雑誌】 (香港) 亜洲週刊  
【通信社等】 (韓国) NEWSIS  
(日本) Gplusmedia  
(ドイツ) フリーランス



#### エ 実績・反響等

- 知事インタビューや当県の移住定住の状況や取組について大きな関心をもって取材をされた。また、大山の取り巻く歴史や自然、たたらや刀剣に関して直接現地を訪問して知ることができ、鳥取県への関心が深まったなどの反響があった。
- 取材の結果は、SBSで移住者獲得成功についての特集が放送され、京郷新聞で知事インタビューや移住定住の取組についての記事などが掲載された。(8月14日現在)

#### (2) 伯耆国「大山開山1300年祭」記念東京講演会

「大山開山1300年」や大山の歴史や魅力を首都圏で紹介することを目的に、東京鳥取県人会との共催事業として、記念講演会を開催した。

ア 日 時：平成30年6月21日(木) 午後6時から午後7時30分まで

イ 場 所：とっとり・おかやま新橋館2階  
催事スペース

ウ 参 加 者：首都圏在住の30代～60代の  
男女 約50名

エ 内 容：大山寺観證院清水住職による記念  
法話、大山もりあガールズによる  
伯耆国「大山開山1300年祭」PR



オ 実績・反響等

- ・来場者からは、大山にまつわる興味深い逸話や1300年祭のイベントを知ることができ、鳥取への興味を持ったなどの反響があり、また、イベント後に会場のアンテナショップでの買い物などの利用につながった。
- ・東京鳥取県人会との共催により、県人会会員を通じて広報することができたことで多くの方に参加いただき、県人会との関係強化に結びついた。

(3) 春日大社・鳥取県共同発表会（特別展「大山山麓の至宝～「大山」ゆかりの刀を中心に～」及び春日大社「古伯耆物」を中心とした日本刀の魅力について）

鳥取県と春日大社が、東京において首都圏のテレビ、新聞、雑誌等を招待した共同発表会を実施した。

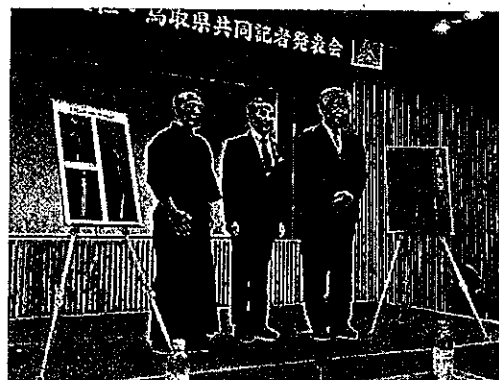
ア 日 時：平成30年7月27日（金）午後3時から4時まで

イ 場 所：都道府県会館1階 101大会議室（東京都千代田区）

ウ 出演者：平井知事、<sup>かさんのいんひろた</sup>花山院弘匡氏（春日大社宮司）、<sup>かわさきあきひら</sup>川崎晶平氏（刀匠）、<sup>くるみだひろき</sup>来見田博基氏  
（県立博物館 主任学芸員）

エ 実施内容

- ・平井知事から大山開山1300年祭や「鍛刀地（たんとうち）」としての伯耆国の魅力、「大山山麓の至宝」展のみどころについて説明。
- ・花山院宮司が春日大社蔵「古伯耆物」について「ほぼ新品な状態で見つかった。900年ぶりの伯耆国への里帰りで多くの方に見ていただきたい」と紹介後、刀匠の川崎晶平氏より刀匠の立場から「安綱」の魅力やあこがれについて説明。
- ・また、来見田学芸員が「大山山麓の至宝」展の概要や展示する太刀について説明。一緒に登壇した川崎氏からは「視線を刀と平行にし、光を入れながら刀に沿って見るとよい」との鑑賞のポイントを説明。



オ 実績・反響等

- ・24媒体32名が参加（TOKYO MX、NHKエデュケーショナル、日経BP、宝島社、扶桑社、聚美社、新聞各社 ほか）
- ・多くのメディアに記者発表会に参加いただき、効果的な情報発信となった。

(4) 商工中金本店における鳥取県ロビー展の開催

株式会社商工組合中央金庫（略称：商工中金）の顧客に対し、大山開山1300年祭を中心に鳥取県を広くPRするため、ロビー展を実施した。

ア 日 時：平成30年5月14日（月）～6月22日（金） 午前9時から午後3時まで

イ 場 所：株式会社商工組合中央金庫 本店1階ロビー（中央区八重洲）

ウ 内 容：大山ゆかりの特産品の展示、観光ポスターの掲示、観光パンフレットの配架等

エ 実績・反響等

- ・特産品の展示により、鳥取県の食をPRすることができた。また、「とっとり・おかやま新橋館」への誘導につながった。
- ・大山開山1300年祭を広く周知することができた。



## 2 観光と物産が連携した情報発信の取組について

### (1) 「お台場海水浴 ODAIBA PLAGE」への鳥取県・北栄町合同ブース出店

東京オリンピック・パラリンピックでトライアスロン競技の会場となることが決定しているお台場で2014年から開催されているイベントに港区の連携自治体である北栄町（台場つながり）と合同で昨年度からブース出店しており、お台場を訪れる国内外の観光客・住民に特産品の販売および観光PRを実施した。

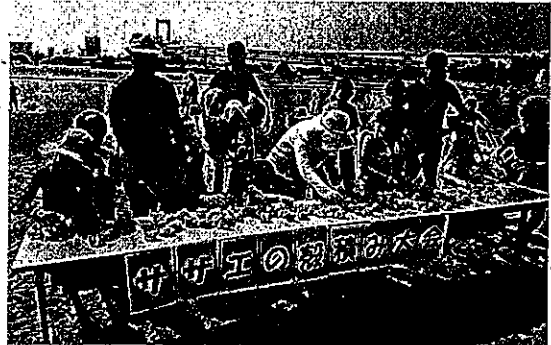
ア 日 時：平成30年7月31日（火）～8月5日（日） 午前10時から午後3時まで

イ 場 所：お台場海浜公園（港区台場）

ウ 主 催：港区、お台場海水浴実行委員会

エ 内 容：ポスター掲示、観光パンフレット配架、（土日のみ）特産品販売、サザエの殻積み大会  
オ 実績・反響等

- ・来場者数 6,431名
- ・鳥取県への訪問歴がある方が多く声をかけてくださり、特産品販売や観光パンフレットの配布を通して、認知度向上が図られた。
- ・港区や区民ボランティアの協力もあり、大勢の方にブースにお越しいただくことができた。二十世紀梨を使用した商品が好評であった。
- ・港区と連携した取組についても広く知っていただくことができた。



### (2) 鳥取県×天然生活「大山開山1300年記念フェア」

日々の暮らしを大切にしている女性に好評を得ている生活雑誌「天然生活」と連携し、首都圏在住の方々に向け、大山開山1300年祭を広く周知するとともに、大山地域の「食」「水」「人」など、大山の恵みや魅力を伝え、鳥取への訪問意欲を高めていただくことを目的にフェアを開催した。

ア 期 日：平成30年8月9日（木）～21日（火）

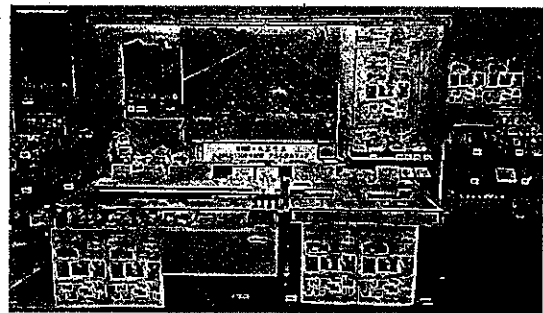
イ 場 所：とっとり・おかやま新橋館

ウ 内 容：〈1階ショップ〉大山特設コーナーでの商品販売、パンフレット配架など

〈2階レストラン〉大山の恵みを受けて作られた「コウボパン小さじいち」のパン、「くろぼく野菜畑」の野菜を使った特別ランチメニューの提供

エ 実績・反響等

- ・雑誌「天然生活」が運営しているTwitter、Facebook、ブログを通じて、読者の方々に今回のフェアを周知することができた。
  - ・アンテナショップ1階の入口近くに大山周辺の商品を集めた特設コーナーを設置しており、足を止め、商品に見入る方が多かった。
- また、2Fのももてなし家で提供している特別ランチメニューは一日約40食の注文があり、大山周辺の食の魅力を発信することができた。



## 3 県産品の販路拡大に係る情報発信の取組について

### (1) らっきょう漬け方講習会の開催

生産が始まって100年を迎えた鳥取県の特産品「らっきょう」の漬け方講習会を、出荷の最盛期となる5月下旬にJA全農ととりと共同で開催した。



ア 日時・場所

- ・6月2日(土) 午後12時30分から、午後3時から(2回開催)  
スーパーアルプスはざま店(八王子市栢田町)
- ・6月3日(日) 午前10時から、午後1時30分から(2回開催)  
オレンジページコトラボ阿佐ヶ谷店(杉並区阿佐ヶ谷南 ビーンズ阿佐ヶ谷内)
- ・6月5日(火) 午前10時から、午後2時から(2回開催) スーパーさえき本部(国立市西)
- ・6月8日(金) 午前10時から(1回開催) コープ高倉店(八王子市高倉町)

イ 実施内容

<オレンジページコトラボ阿佐ヶ谷店>

- ・らっきょうの食べ比べ(平成30年の簡単漬け、平成29年の簡単漬け、平成29年の本漬け)
- ・鳥取県産食材を使った料理の提供  
(鳥取県産きぬむすめの塩むすびと板わかめおむすび、大山ハム、とうふちくわ、あごちくわ、フラワーらっきょう)

<他の会場>

- ・らっきょうの食べ比べ(平成30年の簡単漬け、平成29年の簡単漬け、平成29年の本漬け)
- ・講師が御席で作った「らっきょうの薄皮の佃煮」の試食

ウ 実績・反響等

- ・全ての講習会で定員に達し、計7回の開催で参加者は142名。
- ・参加者全員、らっきょうに興味を持って応募されているため、どの会場でも受講生は作り方や保存方法について真剣に講師へ質問されていた。

(2) フランスレストランでの鳥取県フェアの開催

駅前の大規模な再開発で次世代の都市へ発展している二子玉川にある高級冷凍食品のフランス料理を提供するレストランでの鳥取県フェアを協力して開催した。

ア 日時:平成30年6月7日(木)

午後6時45分から午後9時まで

イ 場所:トーキョープレジューハウス(世田谷区玉川 玉川高島屋内)

ウ 主催:ダノパーティインターナショナル株式会社  
(トーキョープレジューハウスの運営会社)

エ 実施内容

- ・鳥取県の食材を使った料理の提供(立食形式)
- ・鳥取県の観光と特産品のPR

オ 実績・反響等

- ・鳥取県産らっきょう等をメイン食材とした「ギリシャ風サラダ」や鳥取県産のベニズワイガニをメイン食材とした「ベニズワイガニのトマトソースパスタ」等、食材の特徴を活かした料理が提供され、出席した約50名の方々から「食材自体が美味しい」と好評であった。
- ・鳥取県の観光と特産品のPRを行ったところ、出席者から「大山は「だいせん」と覚えた」、「是非、大山開山1300年祭に参加したい」などの声があった。



(3) 鳥取すいかセレモニーによるPR

全国有数の生産量を誇る「鳥取すいか」が、6月下旬から7月中旬にかけて首都圏への出荷がピークを迎えるにあたり、首都圏の市場関係者及び消費者に広く「鳥取すいか」をPRした。

ア 日時:平成30年6月8日(金)

午前6時40分から午前7時30分まで





イ 場 所：大田市場 東京青果株式会社 果実競売場（大田区東海）  
ウ 主 催：JA全農とっとり、鳥取県  
エ 実施内容

- ・鳥取すいかの試食、鳥取すいかティッシュ配布
- ・販売セレモニー

オ 実績・反響等

- ・倉吉すいか、大栄すいかを試食用に各5玉用意したところ、多くの仲買人が試食され、「毎年、楽しみにしている」、「たいへん美味しい」と好評であった。

#### (4) 鳥取すいかPRキャラバンの実施

鳥取県の初夏の風物詩「鳥取すいか」が6月下旬から、首都圏で出荷の最盛期を迎える時期に、とっとり観光親善大使や県の職員でキャラバン隊を結成し、約8kgの巨大すいかを持って首都圏のメディアに向けたPRを実施した。

ア 期 日：平成30年6月11日（月）、12日（火）

イ 場 所：首都圏の各メディアを訪問。

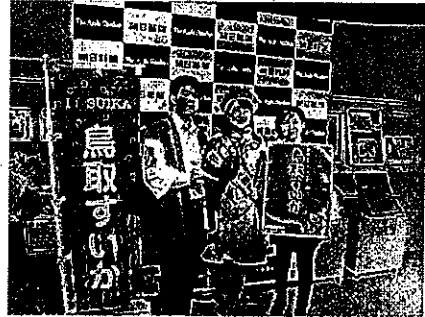
（新聞社9社、雑誌社1社、Web1社の計11社を訪問。）

ウ 実施内容

- ・各メディアへとっとり観光親善大使から「鳥取すいか」の特徴をプレゼンテーション
- ・「鳥取すいか」の試食、記事掲載用の写真撮影
- ・鳥取すいかと併せて、大山開山1300年祭のPRも行った。

エ 実績・反響等

- ・各メディアから「今年のすいかも美味しく仕上がっている」と好評で、朝日新聞、東京新聞、サンケイスポーツ新聞、TOKYO HEADLINE等への記事掲載につながった。



#### (5) 雑誌で話題となった白バラ牛乳をきっかけとした鳥取県のPR

雑誌において白バラ牛乳が「日本一老けない牛乳」として話題となったことをきっかけとして県と大山乳業農業協同組合が協力して首都圏アンテナショップで鳥取県のPRを行った。

ア 期 日：平成30年6月16日（土）～24日（日）

イ 場 所：とっとり・おかやま新橋館

ウ 実施内容

- ・知事と大山乳業の代表理事組合長とのトップセールスを実施（6月17日）
- ・白バラ商品の試飲販売、白バラ牛乳グッズが当たる抽選会、白バラマスキングテープが当たるくじ引き、白バラ牛乳関連商品1杯無料プレゼント等

エ 実績・反響等

- ・キャンペーン期間中、約14,000人程度の入館者があり、特にキャンペーン初日の16日（土）は入館者数2,338人と今年度で最も多い入館者数を記録した。（8月14日時点）
- ・一部の商品が欠品になるほど好調の売れゆきだった。



#### (6) 百貨店、高質型スーパーマーケット等での県産品PR

百貨店や高質型スーパーマーケット等において県産品をPRする物産フェア等を行った。

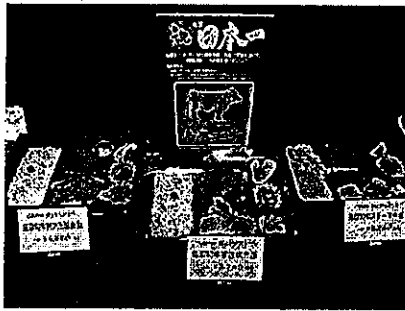
ア スズキヤ新杉田店での境港産本マグロの解体ショーとベニズワイガニの試食販売

期 日：平成30年6月22日（金）

場 所：スズキヤ新杉田店（神奈川県横浜市磯子区杉田）

来店者：約1,000人

- イ 三越日本橋本店でのベニズワイガニの試食販売  
期 日：平成30年6月23日（土）  
場 所：三越日本橋本店（中央区日本橋宝町）  
来店者：約10,000人
- ウ 京王百貨店新宿店での境港産本マグロの解体ショー  
期 日：平成30年6月23日（土）  
場 所：京王百貨店（新宿区西新宿）  
来店者：約10,000人
- エ 伊勢丹浦和店での鳥取フェア  
期 日：平成30年6月27日（水）～7月3日（火）  
場 所：伊勢丹浦和店（埼玉県さいたま市浦和区）  
来店者：約70,000人
- オ いなげやでの鳥取すいかの試食販売  
期 日：平成30年6月30日（土）  
場 所：いなげや調布仙川店他9店舗  
来店者：約10,000人



#### 4 ハローワーク・移住定住に係る情報発信の取組について

##### (1) 転職フェアへの出展

昨年7月に東京本部内に開設した「県立東京ハローワーク」の認知度を上げ、登録者を増加させる機会を得るため、求職者からの知名度・信頼と発信力・集客力がある大手転職サイトの主催する「転職フェア」に出展した。

なお、今回は鳥取県地域活性化雇用創造プロジェクト推進協議会と共同で大型のブースを出展し、就職相談と同時に鳥取県への就職セミナーも開催した。

ア 名 称：「リクナビNEXT はじめての転職フェア」

イ 日 時：平成30年7月16日（月・祝） 午前11時30分から午後6時まで

ウ 場 所：東京国際フォーラム（東京都千代田区丸の内）

##### エ 実績等

- ・就職相談77名、就職セミナー等35名、計112名と多くの転職希望者と面談の機会を得た。
- ・首都圏での転職フェア参加者へのPRを通して、就業・居住の場所にこだわらない方、地方を希望する方を発掘する貴重な機会となった。話を聞いてくださった方をフォローアップし、コンタクトを継続していくことにより、鳥取県内での就業につなげていく。



#### 5 今後の情報発信の取組について

今後とも鳥取県の旬の特産品、特色のある観光素材、魅力的な移住定住や企業誘致等の情報発信について、積極的に展開していく。

## (1) 観光・誘客関係

イベント名	時期	場所	内容
「MATSURI JAPAN」での郷土芸能の披露	平成30年8月23日、24日	八芳園(港区白金台)	日本文化体験イベントで因幡の傘踊りを披露
蟹取県ウェルカニキャンペーンPRイベント	平成30年9月21日、22日	東京シティアイ(千代田区丸の内KITTE地下1階)	蟹取県ウェルカニキャンペーンのPRを実施
明治大学・鳥取県連携講座	平成30年10月2日	明治大学(千代田区神田駿河台)	明治大学と連携して、大山開山1300年を紹介する講座を実施
中国5県観光物産フェア	平成30年10月4日	港区役所(港区芝公園)	中国5県が連携して観光物産展を実施
松戸まつり	平成30年10月6日、7日	松戸駅周辺(千葉県松戸市)	松戸市と交流している倉吉市と共に観光・物産PRを実施
中国ブロック観光情報説明会	平成30年10月19日	都道府県会館(千代田区平河町)	旅行代理店、メディアを対象に観光情報説明会を開催
蟹取県からトリピーがやってきた!観光PR	平成30年10月28日	JTB イオンモール幕張新都心店(千葉県美浜区)	蟹取県ウェルカニキャンペーンのPRを実施
めぐろ童謡コンサート	平成30年11月11日	めぐろパーシモンホール(目黒区八雲)	わらべ館と連携して鳥取県PRを実施

## (2) 販路拡大関係

イベント名	時期	場所	内容
スーパーマーケット三徳での山陰・山陽フェア	平成30年8月19日～21日	スーパーマーケット三徳各店舗	県産品の販売
スーパーマーケットサカガミでの鳥取フェア	平成30年8月24日～26日	スーパーマーケットサカガミ各店舗	県産品の販売
鳥取梨セレモニー	平成30年8月28日	大田市場(大田区東海)	鳥取梨を市場関係者へPR
鳥取梨PRキャラバン隊	平成30年8月29日、30日	首都圏の各メディア	鳥取梨をメディアに向けてPR
横浜タカシマヤでの鳥取・大山フェア	平成30年8月29日～9月4日	横浜タカシマヤ(神奈川県横浜市西区)	県産品の販売
銀座三越での鳥取フェア	平成30年8月29日～9月4日	銀座三越本店(中央区銀座)	県産品の販売
東京海上日動火災保険株式会社での鳥取県物産展	平成30年8月31日	東京海上日動火災保険本社(千代田区丸の内)	県産品の販売・PR
伊勢丹新宿店での鳥取特集	平成30年9月5日～18日	伊勢丹新宿店(新宿区新宿)	県産品の販売
中野賑わいフェスタに出店	平成30年10月6日、7日	中野サンプラザ(中野区中野)	県産品の販売・PR
スーパーマーケットよしやでの鳥取フェア	平成30年10月27日～30日	スーパーマーケットよしや各店舗	県産品の販売
明治大学ホームカミングデイに出店	平成30年10月28日	明治大学駿河台キャンパス(千代田区神田)	県産品の販売・PR

## (3) 移住定住支援関係

イベント名	時期	場所	内容
DODA転職フェア	10月11日(木)	東京ドームシティ(文京区)	IJUターン就職希望者との面談、制度紹介等
早大生による首都圏での「鳥取県」知名度向上事業	10月21日(日) 11月3日(土)、 11月4日(日)	早稲田大学早稲田キャンパス(新宿区)	早稲田大学の学祭(稲門祭、早稲田祭)で鳥取県PR
鳥取県学生寮での就活セミナー	10月28日(日) 11月18日(日)	女子寮(豊島区) 男子寮(世田谷区)	Uターン交流会、制度紹介等
学生と県出身OB・OGとの交流会	11月22日(木)	中央大学多摩キャンパス(八王子市)	IJUターン就職セミナー・交流会
学生鳥取県内企業体験交流会(ワクワク飛行機ツアー)	12月26日(水)～27日(木)	鳥取県内	県内企業見学、Uターン交流会等

# 京都橘大学との就職支援に関する連携協定の締結について

平成30年8月21日  
関西本部  
雇用政策課

県出身学生等のIJUターン就職を促進するとともに、鳥取県の地域経済を支える人材の育成及び確保を目的として、京都橘大学と就職支援協定を締結しました。(大学、県、(公財)ふるさと鳥取県定住機構による3者協定)  
今後は本大学と連携しながら、学生に対して鳥取県への就職に関する情報の提供や、Uターン就職を促進するためのイベント等の取組を進めていきます。

1 協定日 平成30年7月10日

## 2 連携・協力事項

- ① 学生に対する鳥取県内の企業情報、各種就職イベント等の周知に関すること
- ② 学内で行う就職相談会、企業説明会等の開催
- ③ 学生の保護者に対するIJUターン就職に係る情報提供
- ④ 学生の就職に係る情報交換及び実績把握
- ⑤ 県内企業等における学生のインターンシップ受入の支援
- ⑥ その他学生のIJUターン就職促進に関すること

## 3 協定の目的とねらい

京都橘大学は、理学療法学科を含む健康科学部や看護学部など、鳥取県が必要とする人材を育成しており、協定によりこれらの学生のIJUターン就職を促進する。

直近3年間の鳥取県出身学生の県内就職者数は17名中8名と4割を超えており、協定を機に今後さらに連携を深めることで、この流れを拡大していくことが期待できる。

## 4 京都橘大学の概要

- (1) 所在地 京都市山科区大宅山田町34
- (2) 学部等 国際英語学部(国際英語学科)  
文学部(日本語日本文学科、歴史学科、歴史遺産学科)  
発達教育学部(児童教育学科)  
現代ビジネス学部(経営学科、都市環境デザイン学科)  
看護学部(看護学科)  
健康科学部(心理学科、理学療法学科、救急救命学科、作業療法学科、臨床検査学科)
- (3) 大学院 文学研究科、現代ビジネス研究科、文化政策学研究科、看護学研究科、健康科学研究科
- (4) 学生数 学部4,263人 大学院74人(平成30年5月1日現在)
- (5) 県出身学生数 1年生11人、2年生9人、3年生13人、4年生10人 計43人
- (6) Uターン就職率 H29.3卒業75.0%(3/4名)、H28.3卒業30.0%(3/10名)、H27.3卒業66.7%(2/3名)

<参考1>本県と県外大学等との協定締結状況(下線は関西の大学:包括協定3校、就職支援協定13校)

包括協定(5校)	就職支援協定(17校)
明治大学(H21.3)	神戸学院大学(H26.2)、武庫川女子大学・同短期大学部(H26.7)、
龍谷大学(H22.7)	立命館大学(H26.7)、関西大学(H26.11)、同志社大学(H27.7)、
京都女子大学(H27.6)	兵庫医療大学(H27.10)、美作大学・同短期大学部(H28.8)、
京都産業大学(H28.10)	神戸電子専門学校(H28.9)、神戸女子大学(H29.1)、神戸女子短期大学(H29.1)、
青山学院大学(H30.3)	大阪商業大学(H29.6)、近畿大学(H29.6)、中央大学(H29.9)、明治大学(H29.10)、 専修大学(H30.3)、大阪薬科大学(H30.4) ※、京都橘大学(H30.7)

※大阪薬科大学については、薬学系の単科大学のため、医療・保険課が窓口となって協定を締結した。

<参考2>県外大学進学者のUターン就職率の推移(近年は漸増傾向)

H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
25.5%	26.5%	34.6%	31.1%	33.9%	34.3%	34.8%

## どっとり WorkWork (ワクワク) バスツアーの実施結果について

平成30年8月21日  
関西本部

関西圏の大学で学んでいる県内出身学生等が、県内企業関係者との直接交流を通じ、県内の産業、企業情勢等についての認識や理解を深めることにより、将来のI J Uターン就職につなげるため、次のとおり2回の日帰りバスツアーを実施しました。

- 1 対象者 鳥取県内での就職を視野に入れる関西圏の大学生等 (参加費は無料)
- 2 開催日 第1回：平成30年8月8日(水) 京都発、鳥取県中部エリア訪問  
第2回：平成30年8月9日(木) 大阪・神戸発、鳥取県東部エリア訪問
- 3 主催 関西本部、(公財)ふるさと鳥取県定住機構
- 4 バスツアーの実施結果  
(1) 参加学生数 [第1回] 30名 (大学職員2名も同行) [第2回] 15名  
(2) 実施内容

### ア とっとり企業の視察

企業の現場を訪れ、企業概要及び業務内容の説明を受け、施設見学及び意見交換を行った。

[第1回] 訪問先…(株)ホテルセントパレス倉吉(倉吉市)、(株)バルコス(倉吉市)、  
(株)グッドスマイルカンパニー(倉吉市)

[第2回] 訪問先…大江ノ郷自然牧場(八頭町)、(株)新日本海新聞社(鳥取市)、  
(株)鳥取スター電機(鳥取市)

### イ 県内企業・団体関係者との昼食交流会

県内で活躍する若手社員・職員から、仕事や生活を通じて感じた鳥取の企業や地域の良さ・楽しさなどについてのお話を聞き、意見交換を行った。

[第1回] 参加企業：(株)ホテルセントパレス倉吉、(株)明治製作所、社会福祉法人敬仁会、  
倉吉市役所

[第2回] 参加企業：大江ノ郷自然牧場、(株)アクシス、気高電機(株)、  
鳥取県生活協同組合

### (3) 参加学生の声

- [第1回]
- ・鳥取で就職することの魅力を知ることができた。地元で働きたいと改めて感じた。
  - ・今まで行く機会がなかった中部へのバスツアーはとても為になった。米子や鳥取市での就職を中心に考えていたが、倉吉などの企業も調べていきたい。
- [第2回]
- ・鳥取で働きたいと改めて実感した。働きながら鳥取の魅力を伝えることができる人材になり、鳥取に恩返ししたい。
  - ・実際に企業へ足を運ぶことで、仕事の内容だけでなく職場の雰囲気についても知ることができた。
  - ・1日で3社も企業見学できて良かったが、もう少し時間があればもっと詳しく情報を知ることができたと思う。



<若手社会人との意見交換会>



<企業訪問・施設見学>

## 5 参考

- (1) この事業は平成24年度から実施中。
- (2) 学生のUターン就職率は、平成23年の25.5%から平成29年は34.8%へ増加。

## 関西圏における情報発信等について

平成30年8月21日  
関 西 本 部

関西本部では、各種イベントの開催や各種媒体を活用し、大山開山1300年などの観光情報の発信や県産品のPRを行い、鳥取県の認知度向上と関西から鳥取県への誘客や販路開拓・消費拡大につなげる取組を行っています。

### 1 鳥取県のPRイベントの開催・参加状況

#### (1) 大阪鶴見での鳥取県PRイベントの開催

- ①実施日：平成30年7月1日（日）
- ②場 所：三井アウトレットパーク大阪鶴見（大阪市鶴見区）
- ③主 催：鳥取県、週刊大阪日日新聞社（企画運営）
- ④参加者：鳥取市、倉吉市、若桜町観光協会・わかさふるさと特産品グループ、大山山麓観光推進協議会、（公社）鳥取県観光連盟、民間事業者、関西本部 他
- ⑤概 要：週刊大阪日日新聞との連携により、県内関係団体が参加して、夏休みに向けてファミリー層や若者をターゲットに鳥取県観光のPRを行った。  
○ステージイベント：鳥取しゃんしゃん傘踊り、すいかの大試食会、すいか割り大会、鳥取ジェスチャークイズ、なるほど鳥取〇×クイズ、ザザエの殻積み大会、観光PR（鳥取市・倉吉市・若桜町・大山）  
○テントブース：地域・施設等のPR、物販、子ども向け体験コーナー（砂絵づくり、缶バッジづくり）

#### (2) 大阪ミナミ夏祭り2018&にぎわいスクエアへの出展

- ①実施日：平成30年7月14日（土）、15日（日）
- ②場 所：とんぼりリバーウォーク（大阪市中央区）
- ③主 催：（一社）大阪活性化事業実行委員会、大阪市中央区役所
- ④参加者：鳥取県西部地域活性化協会、（一社）山陰インバウンド機構、<sup>さかいみなとたいりょうたいこうじんかい</sup>境港大漁太鼓荒神会、北栄町・北栄町観光協会・北栄町商工会女性部、民間事業者、とっとり花回廊、鳥取県（関西本部、西部総合事務所）他
- ⑤概 要：大阪市中央区が地元商店会・企業等と連携し開催する夏のイベントに、鳥取県の民間事業者と行政等が連携して参加した。テントブースでは鳥取県の食べ物・お土産等の販売、星取県、大山開山1300年等の観光PRを、ステージではオープニングとして「境港大漁太鼓」を披露した。

#### (3) 2018アウトドア&観光フェスタへの出展

- ①実施日：平成30年7月14日（土）、15日（日）
- ②場 所：なんばウォーク（大阪市中央区）
- ③主 催：報知新聞社
- ④参加者：関西本部
- ⑤概 要：海や山の夏のアクティビティを中心とした鳥取県観光をPRした。砂丘、海のレジャーなどへの関心が高く、関連するパンフレット等を多くの方が手に取られた。

#### (4) 中四国9県観光物産展【実施予定】

- ①実施日：平成30年8月31日（金）、9月1日（土）
- ②場 所：天神橋筋2丁目商店街（大阪市北区）
- ③主 催：在阪中四国県事務所協議会
- ④概 要：大阪に事務所を持つ中四国9県が特産品販売の促進、観光情報の発信等を目的に、合同で観光物産展を行う。

(5) 鳥取県観光フェア（鳥取県へウェルカニ）【実施予定】

①実施日：平成30年10月8日（月・祝）

②場 所：JR大阪駅時空の広場（大阪市北区）

③主 催：鳥取県

④概 要：9月28日（金）から10月15日（月）に開催されるフラワーアートミュージアム2018に合わせてとっとり花回廊で育苗した花の花壇を展示するとともに、ステージでウェルカニキャンペーンなど鳥取県の秋冬の観光PRを行う。

(6) 道頓堀リバーフェスティバル2018への出展【実施予定】

①実施日：平成30年10月13日（土）、14日（日）

②場 所：湊町リバープレイスから日本橋までのリバーウォーク一帯並びに大阪ミナミエリア（大阪府中央区・浪速区）

③主 催：（一社）大阪活性化事業実行委員会

④概 要：大阪ミナミで地元の商店会・企業等が参加して開催される秋のイベントに、鳥取県の民間事業者・観光関係者・行政がまとまって参加し、テントブースでの観光PR・物販とステージでの観光PRを行う。

2 県産品の主なPRの状況

(1) 鳥取県すいかフェアの開催

①実施日：平成30年6月16日（土）、17日（日）

②場 所：新名神高速道路宝塚北サービスエリア（宝塚市）

③主 催：鳥取県

④参加者：JA全農とっとり、道路企画課（高速道路推進室）、関西本部

⑤概 要：サービスエリア利用者に対し、鳥取県観光パンフレットの配布、個別の観光地説明、鳥取自動車道等の鳥取県へのアクセス等の説明を行い、夏の鳥取県観光をPRした。また、鳥取すいかの試食・販売を行い、鳥取すいかの美味しさを知っていただくこともできた。試食された方からは「美味しい」との声をたくさん聞くことができ、観光とともに効果的なPRとなった。

(2) 土用の丑の日にヤマトシジミのPR

①実施日：平成30年7月20日（金）

②場 所：KOHYO山田店（吹田市）

③概 要：土用シジミとして東郷池産ヤマトシジミのPRと砂出しの方法を紹介した。大粒なこともあり、多くのお客様が購入された。

(3) JR高槻駅コンコースでの物産・観光PR

①実施日：平成30年7月26日（木）、27日（金）

②場 所：JR高槻駅コンコース（高槻市）

③主 催：JR高槻駅、関西本部

④参加者：JR高槻駅、（一社）鳥取県物産協会、関西本部 他

⑤概 要：地元の利用客数が多いJR高槻駅で銘菓やらっきょう、アイスなどの販売PRを行うとともに、山陰デスティネーションキャンペーン等の観光PRを行った。鳥取県物産販売では予想を上回る売れ行きがあり、また用意した観光パンフレットも全てなくなるなど鳥取県の物産、観光ともに効果的にPRすることができた。

(4) 鳥取和牛のPR

①実施日：平成30年8月4日（土）、5日（日）

②場 所：京都生活協同組合コープ醍醐石田店内「とっとり美敷牧場」（京都府京都市）

③概 要：昨年度の全国和牛能力共進会で肉質日本一となった鳥取和牛の試食PRを行った。お客様から、「とても柔らかくて美味しい」との声や売場の担当者から、「試食で美味し

さを実感してもらえ販売につながる。次はオレイン55の宣伝販売を企画する。」との意見があった。

(5) 県産食材ブランド化勉強会

①実施日：平成30年8月17日（金）

②場 所：メゾン・ド・タカ芦屋（芦屋市）

③概 要：スイートコーン生産者を交えて、ブランド化に必要な市場原理とは異なる有名料理人のニーズやスイートコーンの特性を活かしたメニュー展開などについて意見交換を行った。

(6) その他の取組

実施日	場 所	内 容
8月17日（金） ～19日（日）	ピーコックストア千里中央店 （豊中市）	「鳥取県フェア」において、青果・加工品の試食宣伝販売
8月23日（木）	大阪市中央卸売市場 （大阪市）	二十世紀梨の販売セレモニー
8月24日（金） ～26日（日）	あべのハルカス近鉄本店 （大阪市）	「鳥取物産コーナー」で取扱のトマト甘酒、ごぼう茶の試飲宣伝販売
8月31日（金） ～9月1日（土）	天神橋筋2丁目商店街 （大阪市）	「中国四国観光物産展」において特産品の試食宣伝販売等
9月1日（土） ～2日（日）	八事フランテ（名古屋市天白区） 覚王山フランテ（名古屋市千種区）	梨（二十世紀・なつひめ・新甘泉）、ヤマトシジミの宣伝販売
9月7日（金）	日本生命本店 （大阪市）	「鳥取県フェア」において、二十世紀梨・加工品の試食宣伝販売
9月8日（土） ～9日（日）	あべのハルカス近鉄本店 （大阪市）	「鳥取県観光物産展」において、二十世紀梨、赤いか、加工品、化粧品等の宣伝販売等



## 名古屋における情報発信等について

平成30年8月21日

名古屋代表部

### 1 鳥取県の観光情報の発信

#### (1) 東山動植物園での観光PR【実施済】

ゴールデンウィークの2日間、子どもたちを含む若い家族で賑わう動植物園で、大山開山1300年祭や鳥取砂丘など県内観光地、イベントのPRを行いました。

①日 程：5月5日（土）～6日（日）

②場 所：東山動植物園（名古屋市千種区）

③参 加：名古屋代表部、(公社)鳥取県観光連盟

④内 容：砂絵制作、サザエの殻積みなどのゲームや観光ガイドなどの資料の配付（2,000部）



#### (2) イオン大高店での観光・誘客PR【実施済】

大型ショッピングモールで、大山開山1300年、JTB誘客キャンペーン、レストランフェアなどのPRを行いました。

①日 程：5月20日（日）

②場 所：イオンモール大高（名古屋市緑区）

③参 加：名古屋代表部、(公社)鳥取県観光連盟

④内 容：観光ガイド・レストランフェアなどの資料配布（1,000部）、缶バッジや砂絵制作などのアトラクション

#### (3) 夏山フェスタでの観光PR【実施済】

名古屋で唯一の山岳関連イベントの「第6回夏山フェスタ」で「山の日」イベントや鳥取砂丘などの県内観光地などのPR、資料配付（1,500部）を行いました。

①日 程：6月23日（土）～24日（日）

②場 所：ウインクあいち（名古屋市中村区）

③参 加：名古屋代表部、(公社)鳥取県観光連盟、「山の日」記念全国大会鳥取実行委員会など

④内 容：観光やイベントのチラシなどの資料配付（1,500部）

#### (4) 地元新聞に鳥取県PR記事掲載【実施済】

中日新聞市民版に「涼を求めて鳥取へ」と題して、さじアストロパークなど県東部地域を中心にPR記事を掲載しました。併せて出荷の時期を迎える鳥取県産二十世紀梨のPRを兼ねてプレゼント企画を

行いました。

- ① 内 容：若桜氷ノ山、さじアストロパークや梨狩りなど
- ② 掲載日：8月11日(土)
- ③ 掲載紙：中日新聞市民版 全5段

#### (5) 旅行会社と連携した誘客の取組【実施中】

現在実施中の山陰ディスティネーションキャンペーンに併せ、JTB、近畿日本ツーリスト、日本旅行、名鉄観光サービスの中部エリアの店舗で、鳥取県への観光旅行を成約された方に、抽選で県産品をプレゼントする「鳥取へ行こう！」キャンペーンを実施中です。

- ① 内 容：各店舗に、PRポスターの掲示、チラシ配布により鳥取旅行をPR  
鳥取県内への観光旅行（7月1日（日）から9月30日（日）までに出発された方）を成約された方に、抽選で県産品（松葉がに、県産米など）をプレゼント

## 2 県産品の販路拡大

### (1) 鳥取レストランフェア【実施済】

山陰ディスティネーションキャンペーンに併せ、大山開山1300年祭を記念して、鳥取和牛を中心食材に名古屋駅内のレストラン4店舗で鳥取グルメを期間限定販売する鳥取フェアを実施しました。

- ① 日 程：6月20日（水）～7月20日（金）
- ② 場 所：名古屋駅内のレストラン4店舗
- ③ 主 催：ジェイアール東海フードサービス（株）
- ④ 協 力：鳥取県
- ⑤ 内 容：鳥取和牛のしぐれおろし蕎麦、鳥取和牛の味噌カツ定食、大山どりのオイル焼きなど

### (2) スーパーでの鳥取イベント【実施済】

中京圏で66店舗を展開する食品スーパー ヤマナカのうち高級業態「フランテ」21店舗で「山陰・日本海フェア」が開催され、そのうち八事店で鳥取イベントを実施しました。

- ① 日 程：6月23日（土）～24日（日）
- ② 場 所：フランテ八事店（名古屋市昭和区）
- ③ 内 容：境産産クロマグロや大栄スイカ、白バラ牛乳・打吹公園だんごなどの試食宣伝販売など

### (3) らっきょうの漬け方講習会【実施済】

鳥取県産らっきょうの出荷時期に合わせ、漬け方講習会を名古屋市内で開催し、「食のみやこ鳥取県」のPRを行いました。

- ① 日 程：6月1日（金）
- ② 場 所：名古屋市東生涯学習センター（名古屋市東区）
- ③ 内 容：JA鳥取いなば福部支店の協力を得て、抽選で50名の皆様に参加いただいた。
- ④ 応募者：159名（抽選で外れた方については、作り方のレシピを希望者に送付）

### (4) 二十世紀梨の試食宣伝販売【実施予定】

二十世紀梨の出荷時期を迎え、9月1日（土）、2日（日）の2日間、試食宣伝販売をジェイアール名古屋タカシマヤ、フランテ八事店で行う予定です。